

収穫した大納言小豆

## こども食菜塾 2008 10 月活動

**今**年度 3 回目の活動です。いよいよ収穫の秋がやってきました。待ちに待った稲刈りです。



**い**ちめにひろがった黄金色の田んぼ。田んぼに着いた途端、「軍手は、いるよね！」「タオルも持って行こう！」すっかり稲を刈る心の準備は

できているようです。

地元の稲刈りの先生から指導を受け、稲刈り開始です。鎌を持ち、稲刈りする姿も堂に入ったものです。

「ちょっと見てて！すごく早いでしょ！！」「この角度の方が切りやすいよ」



あっという間に稲刈り終了。稲をくくり、その後は掛け干しです。

「乾燥機で乾燥させるのではなく、おひさまの力で乾燥させるほうが時間はかかるけどおいしいんだよ。」稲刈りの先生が子どもたちに教えてく

れました。

稲を交互に規則的に並べていきます。そうすることによって、ムラなく乾燥できるとのこと。

「それこっちだよ！」「あっちのをこっちに持ってきて！」子どもたち同士、声を掛け合いながら効率のいいやり方で作業が進んでいきました。来月の活動までにきつとおいしいもち米ができるはずです。

秋晴れのもと、いい汗をかきながら、地元のみなさんとお昼の交流会も楽しそうです。今年この地区でとれたばかりの新米でつくったおにぎりは格別。「ねえ、何個食べた？ポクなんかこれ 5 個！」みんなお米が大好きなんですね。

**あ**ずきの収穫をしました。種類は特大サイズの大納言あずきです。あずきの収穫はさやごと収穫し、

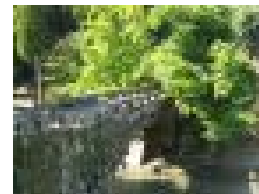


そのまま干して乾燥させます。さやが枯れているのが収穫のサインです。「うわ、すごい！」

どうやらテントウムシの大群が葉っぱ

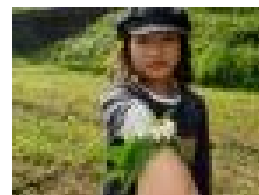
にびっしりいるようです。「テントウムシはね、益虫なんだよ。大納言が育つのを手伝ってくれる虫だからいい虫なんだよ。」子どもたちは不思議な顔をしながら、テントウムシを眺めていました。

たくさんの大納言を収穫できたので、来月はその大納言を使って赤飯やあんこを作る予定です。



**石**橋探険です。この地域にはいろんな石橋があります。子どもたちと一緒にいろんな石橋を見つけました。地元の

石橋博士から、石橋の歴史や農業用水として使われている水路について教えてもらいました。昔の人たちの知恵や、大変な努力をうかがいました。



**今**回の活動でも、野道には花がたくさん咲いていました。ヨメナやコスモスもとてもきれいです。移動の途中つみとった花で女の子たちは野の花のレイを作ってみました。「どうやって作るの？」「私のも手伝って！」なんていいながらワクワクレイづくりです。いろんな花を摘み、どんどん作っていきます。

レイを作り終えて、手首に飾るときの子どもたちのとってもうれしそうな表情。自分で一生懸命作ったこと、それを手伝ってもらってうれしかったことも思い出の一コマとして心に残っていくのかもしれないですね。

次回の活動は「餅つき」「かぼちゃの収穫」です。